

がん分子免疫治療学（テラ）寄附講座 研究・臨床成果概要

がん分子免疫治療寄附講座 平成19年7月1日～平成22年3月31日

講座在籍教官 客員教授 高橋 豊 平成19年10月1日～平成22年3月31日

寄附講座教員 塚田 旬 平成19年 7月1日～平成21年3月31日

寄附講座教員 添野 吉徳 平成21年 5月1日～平成22年3月31日

講座研究概要

本講座では、がん特異免疫の一つである樹状細胞療法と、化学療法、分子標的療法との併用治療に関する具体的な治療、症例の選択、効果判定などをテーマとして研究を行ってきた。樹状細胞療法の併用としての化学療法に関しては、化学療法の効果を損なわず、免疫能を落とさない方法として、現在の最大継続可能量に替わる、個別化最大継続可能量を開発し、全国的な臨床試験を企画、遂行してきたが、その成果をヨーロッパ臨床腫瘍学会で発表することができた。分子標的治療に関しては、血管新生に注目し、血管新生の抑制と樹状細胞療法との関係について検討した。また樹状細胞療法に関する遺伝子レベルでの効果予測として、マイクロRNAからの検討を行った。これらの研究は、今後の集学的ながん薬物療法に寄与するものと考えられた。

研究業績

論文、著書

Sugimoto T, Seki N, Shimizu S, Kikkawa N, Tsukada J, Shimada H, Sasaki K, Hanazawa T, Okamoto Y, Hata A. The galanin signaling cascade is a candidate pathway regulating oncogenesis in human squamous cell carcinoma. *Genes Chromosomes Cancer*. 2009 Feb;48(2):132-42.

Shimizu S, Tsukada J, Sugimoto T, Kikkawa N, Sasaki K, Chazono H, Hanazawa T, Okamoto Y, Seki N. Identification of a novel therapeutic target for head and neck squamous cell carcinomas: a role for the neurotensin-neurotensin receptor 1 oncogenic signaling pathway. *Int J Cancer*. 2008 Oct 15;123(8):1816-23.

Takahashi Y and Nishioka K. *In vivo* combination therapy of anti-VEGF antibody and DFMO on VEGF-dependent and -independent tumors: Significance of the combination in VEGF-targeted and -non-targeted anti-angiogenesis therapy. *Recent Adv Met Gastroint Cancers*, 195-205, 2008.

Takahashi Y. Therapeutic approaches targeting tumor vasculature in gastrointestinal tumors. *Front Biosci*, in press.

高橋 豊:胃癌、今日の処方第4版、高久久磨、水島 裕監、南江堂、東京 p271-273, 2007.

高橋 豊、I. J. Fidler: ヒト胃癌の同所性移植および経門脈(経脾)による肝転移モデル(ヌードマウス)、がん転移研究の実験手法、金芳堂、東京、p24-28, 2008.

高橋 豊: 血管新生にかかわる増殖因子は?、Surgery Frontier, 14: 106-108, 2007.

高橋 豊: Tumor dormancy therapy, 総括と今後の展望、十全医学会雑誌、116: 100-101, 2007.

高橋 豊: Tumor dormancy therapy、がん休眠療法、日本保険医学会誌、106: 165-172, 2008.

高橋 豊: 胃癌におけるバイオマーカー、Biotherapy 23: 92-97, 2009.

高橋 豊: 癌の休眠療法 (Tumor dormancy therapy)、機能温存をめざした頭頸部癌治療 update、ENTONI 103, 46-50, 2009.

高橋 豊、白坂哲彦: DIF のもう一つの意義-血中 5-FU 濃度の一定化を目指した治療-、コンセンサス癌治療 9:44-45, 2010.

高橋 豊：がん治療の現状とメディカルニーズ、「結腸、直腸がん」、各疾患領域の治療の現状とメディカルニーズ DATE BOOK, in press.

学会報告、講演

Tsukada J, Takahashi Y, Seki M, et al. Identification of novel therapeutic miRNAs in head and neck squamous cell carcinoma (HNSCC), AACR 2008

Takahashi Y, et al. Randomized phase II clinical trial of tailored irinotecan plus S-1 patients with advanced or recurrent gastric carcinoma. ESMO 2008.

高橋 豊：Tumor dormancy therapy、国際統合医学会（2008.7）

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、国際ワクチン研究会(2008.11)

高橋 豊：Tumor dormancy therapy、北斗病院学術講演会、2007.9

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法：名古屋婦人科研究会、2007.11

高橋 豊：がん休眠療法、三井住友海上市民向け講演会、2007.11

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、広島がん緩和研究会、2007.11

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、耳鼻科専門医研修会、2007.11

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、千葉婦人科講演会、2008.2

高橋 豊：がん休眠療法、三井住友海上市民向け講演会、2008.3

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、保険医学協会講演会、2008. 6

高橋 豊：メトロノミック化学療法、東邦肺癌研究会、2008. 11

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法 宮崎県薬剤師会講演会 2009. 2

高橋 豊：メトロノミック化学療法、日本産婦人科学会ランチョンセミナー2009. 4

高橋 豊：メトロノミック化学療法、千葉化学療法講演会、2009. 5

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、東京脳外科研究会、2009. 6

高橋 豊：メトロノミック化学療法、生体内部とがん治療セミナー、2009. 6

高橋 豊：メトロノミック化学療法、千葉県がんセンター講演会、2009. 6

高橋 豊：メトロノミック化学療法、沖縄消化器治療研究会（沖縄）2009. 9

高橋 豊：Tumor dormancy therapy に基づく tailored dose 化学療法、奈良口腔外科腫瘍研究会、2009. 11

高橋 豊：メトロノミック化学療法、カシオペア癌治療セミナー、2010. 2